

一般社団法人WATALIS 平成30年度事業報告書

事業名	平成30年度「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業」	実施期間	平成30年10月～平成31年3月
-----	-----------------------------	------	------------------

事業目標

東日本大震災の被害を受けた地域の中で、被災地域住民が互いに支えあう力を生み出し、主体的に自立と復興を目指す意識を高める事
 ①住民間の“心の触れ合い”を取り戻す。
 ②世代間交流と地域文化伝承の機会創出。③災害に備える行動の明確化と仲間と共に取り組むための支援。

事業内容

住民間の“心の触れ合い”を取り戻し、世代間交流と地域文化伝承の機会の創出、災害に備える行動の明確化と仲間と共に取り組むための支援を目的として、災害時の備えに関する情報交換のための茶話会と防災グッズを手作りするワークショップを開催し、集いと仲間づくりの場を提供した。

防災グッズ作り

【スリッパ作り】

10月10日(水)参加人数:10名

10月31日(水)参加人数:8名

【マスク入れ作り】

11月14日(水)参加人数:8名

11月28日(水)参加人数:9名

【貴重品入れ作り】

12月12日(水)参加人数:9名

12月19日(水)参加人数:10名

【防災頭巾作り】

1月9日(水)参加人数:8名

1月23日(水)参加人数:10名

【風呂敷2種作り】

2月13日(水)参加人数:8名

2月20日(水)参加人数:9名

【リュックサック作り】

3月13日(水)参加人数:9名

3月27日(水)参加人数:10名

茶話会とワークショップを通して、改めて防災についての備えの大切さを実感した。同じ地域に暮らす住民同士に、新たな交流が生まれ人間関係がさらに豊かになった様子が伺えた。高齢者からは、「町内に顔見知りができ、挨拶を交わす機会が増えた」「今後もこうした事業を継続してほしい」などの声が多く聞かれた。世代間交流の場としての茶話会・ワークショップ参加により、地域住民間のネットワークを構築・強化することができた。

今後の課題としては、事業運営を支える助成金交付元が宮城県共同募金会であることを継続して告知していくことで、地域住民へ本事業の趣

予算

総事業費	322,141 円
平成29年度被災者支援総合交付金	300,000 円
自己資金	22,141 円

人員体制

・代表理事	引地 恵	助成事業全体の取りまとめ
・理事	菊地 喜久江	ワークショップ企画・運営に関すること
・理事	高橋 由紀	広報(チラシ製作・配布、HPやSNSでの告知等)に関すること
・理事	武者 千雅	